

## 事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	事業群主管所属	環境部環境政策課
施策名	(3) 多様な主体が支えあう地域づくりの推進	課(室)長名	小嶺 和伸
事業群名	③ 持続可能な社会の構築のための環境保全活動の促進や環境教育等の推進	事業群関係課(室)	河川課

### 1. 計画等概要

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

##### 《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

県民一人ひとりが環境保全活動や環境教育等に取り組む社会を構築するため、環境に関する知識の普及や情報の発信、協働事業など、学校、地域社会、事業者などが行う環境保全活動や環境教育等に関する取組を支援する事業を推進します。

事業群指標	最終目標 (H32)	基準値 (H25)	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】
身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合	75%	63%	56%	-	旧総合計画期間中も、平成20年度70%から平成26年度64%と低下傾向にあったが、平成27年度はさらに低い56%という結果であった。「取り組んでいない理由」として「情報がない」「参加したいが活動がない」「どうしていいかわからない」と回答した人が38%以上いたことから、県民各層のニーズに合った啓発・PRやイベント等の活動を展開する必要がある。
事業群の進捗状況			-		

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

##### 《取組項目及び現状と課題》

i) 環境に関する知識の普及や情報の発信、協働事業などによる活動支援

##### ①環境保全活動推進事業費

- ・環境に関する各分野の専門家(=環境アドバイザー)による講義・講演や学習会、現地での実習等により、活動参加者及び各団体リーダーの知識とスキルの向上を図っている。
- ・環境月間街頭キャンペーンでは、一般の買い物客が環境保全活動に対する参加意欲や知識を向上させるきっかけとなるよう、官民一体となって工夫を凝らした出展を行っている。

##### ②ながさきグリーンサポーター育成事業

- ・環境学習総合サイト「環境活動eネットながさき」への環境保全活動情報やイベント情報、人材情報等の掲載により、情報発信を行っている。
- ・「ながさきグリーンサポーターズクラブ」への会員登録を推進するとともに、メルマガにより活動情報等を発信している。
- ・環境保全活動を実践している団体に呼びかけて「環境リーダー交流会」を開催し、県が活動団体の生の声を聞くとともに、団体同士の情報交換と交流の場としている。

##### ③県民参加の地域づくり事業費

- ・官民協働での地域の環境保全活動として、県管理公共施設の美化清掃が実践されている。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業	
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率			
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—	—			
取組項目 i	環境保全活動推進事業費	H8-	1,648	0	4,028	県民、学校、地域社会、事業者	・環境アドバイザーを学校等へ派遣 ・環境月間街頭キャンペーンの実施	活動指標	アドバイザー派遣回数(回)	70	67	95%	アドバイザー派遣は、平成27年度は目標にわずかに届かなかったが、平成26年度の42回に比べると1.5倍に増えており、また平成28年5月末時点で既に21件申込があり、学校や地域団体等での活用が広がっている。	○	
			70	—	—			成果指標	環境保全意識の高揚度(%)	100	100	100%			
	2,441	0	4,032	100	—	—									
	ながさきグリーンサポーター育成事業	H26-28	708	0	4,028	県民、学校、地域社会、職場	・環境学習総合サイト「環境活動eネットながさき」の運営と、活動情報・イベント情報・人材情報の掲載・情報発信 ・グリーンサポーターズクラブへの会員登録を推進し、会員に対してメルマガにより活動情報等を発信 ・環境保全活動に取り組む環境リーダーの交流会を開催	活動指標	メールマガジンによるイベント・活動情報発信件数(件/年間)	120	132	110%			平成27年5月に実施した調査では、身近な環境活動に取り組む人の割合は平成26年度調査の64%よりも下がっているが、平成27年度はHPやメルマガ等による広報・啓発を前年度より充実させた。
			1,038	0	4,032			成果指標	H27:身近な環境活動に取り組む人の割合(%) H28:ながさきグリーンサポーターズクラブ登録者数(件)	75	56	74%			
	環境政策課	H15-	10,940	10,940	2,417	県管理公共土木施設の清掃美化活動に取り組む団体	県管理公共土木施設の清掃美化活動に 取り組む団体へ消耗品の支給と活動時の けがや事故に対応した傷害保険への加入 を行い、地域の愛護活動の活性化を図り、 行政と県民との美しい県土づくりを推 進した。	活動指標	登録団体数	970	976	100%			
			9,850	9,850	2,420			成果指標	H27:参加人数 H28:活動回数	60,000	56,258	93%			
	河川課	H15-	10,940	10,940	2,417	県管理公共土木施設の清掃美化活動に取り組む団体	県管理公共土木施設の清掃美化活動に 取り組む団体へ消耗品の支給と活動時の けがや事故に対応した傷害保険への加入 を行い、地域の愛護活動の活性化を図り、 行政と県民との美しい県土づくりを推 進した。	活動指標	登録団体数	980	—	—			
			9,850	9,850	2,420			成果指標	H27:参加人数 H28:活動回数	60,000	56,258	93%			

### 3. 検証及び問題点の抽出

#### 【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

i) 環境に関する知識の普及や情報の発信、協働事業などによる活動支援

##### ①環境保全活動推進事業費

・アドバイザー派遣は、平成27年度は目標にわずかに届かなかったが、平成26年度の42回に比べると1.5倍に増えており、また平成28年5月末時点で既に21件申込があり、学校や地域団体等での活用が広がっている。

・平成28年度環境月間街頭キャンペーンでは、各活動団体が出展に工夫を凝らした結果、アーケードの買い物客を展示に惹きつけることができ、約1万5千人が展示見学や体験活動に参加した。

##### ②ながさきグリーンサポーター育成事業

・環境活動eネット長崎のサイトにイベント情報等を掲載するとともに、メルマガによる情報発信については、平成26年度の21件に対して平成27年度は132件と、発信件数を大幅に増やした。

##### ③県民参加の地域づくり事業費

・アダプト・愛護団体による活動参加人数は平成27年目標値にはわずかに足りなかったが、登録団体数は微増しており、河川や道路、港湾等における環境保全活動が例年通り継続されている。

・①②③とも、事務事業の取組としては例年並以上に実施したものの、成果指標である県民意識アンケート結果の「身近な環境活動に取り組む人の割合」が、平成27年度(56%)は平成26年度(64%)より8%下がっていることから、環境保全活動が県民に広く定着しているとは言えない状況。

・ただし、「取り組んでいない理由」として、「情報がない」「参加したいが活動がない」「どうしていいかわからない」と回答した人が38%以上いたことから、ニーズに合った啓発・PRやイベントの展開によって、活動に取り組む人を掘り起こす余地があると考えられる。



### 4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】			
	事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
i) 環境に関する知識の普及や情報の発信、協働事業などによる活動支援  (1)H28年度の改善の取組 ①周知方法の改善等による環境アドバイザー派遣回数増 ②グリーンサポーターズクラブ会員拡大と、県内各地域での情報収集と発信の強化、各種媒体(HP、メルマガ、ツイッター)でのPR ③啓発行事等の共同開催ができないか佐世保市と協議  (2)H29年度実施の方向性 ①環境アドバイザー制度の周知先を拡大するとともに、一般県民向けの普及啓発・広報のあり方(イベント・キャンペーンなど)を検討する。 ②環境活動eネットながさきのHPの内容充実、環境リーダー交流研修会の県下全域での開催などに、市町や関係団体の協力を得て取り組む。 ③県民参加の地域づくり事業については、アダプト・愛護団体との連携により効果的・効率的な環境美化が図られていることから、現在の支援体制を継続する。  これらの取組により、「情報がない」「参加したいが活動がない」「どうしていいかわからない」と感じる県民を減らし、環境保全活動に取り組む人を増やしていく。	環境保全活動推進事業費	⑥⑦	・平成27年途中評価結果により平成28年から取り組んでいる改善の効果(アドバイザー申込増)が現れ始めているところなので、引き続き制度の周知に努める。 ・従来長崎市のみで共催実施している環境月間行事を、他地域でも実施する方向で検討・調整する。	改善
	ながさきグリーンサポーター育成事業	⑥⑦	・本事業は終了し、環境保全活動推進事業費に統合する方向で次のような見直しを行う。 ・環境活動eネットながさきのHPを変更し、新たな情報(例:過去のイベント、特集記事、文献図書紹介など)を掲載するコーナーを新設する。また、ツイートでの引用を増やすことによってeネットながさきHPに誘導する。 ・若い世代の活動参加を促すため、子どもを対象とした学習会や、環境教育の担い手である保育士等の指導力向上を目的とした講座を開催する。 ・県内各地域の行政や関係機関が協働して環境教育等を推進するためのネットワークを構築する。	終了
	県民参加の地域づくり事業費	-	当事業を実施することにより、県民の環境維持保全活動への参加機会を確保している。事業の定着により県民の環境に対する意識も高まっており登録団体数も増加している。 登録団体の増加を図りながら、引き続き当事業を実施することで公共施設等の環境維持担い手の多様化に貢献していく。	現状維持